

# 全社協

## Action Report

第 290 号

2025 (令和 7) 年 5 月 15 日

社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**  
Japan National Council of Social Welfare  
(全社協 ぜんしゃきょう)

総務部広報室 [z-koho@shakyo.or.jp](mailto:z-koho@shakyo.or.jp)

TEL03-3581-4657 FAX03-3581-7854

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

全社協 福祉ビジョン2020

ともに生きる豊かな地域社会をめざして

FUKUSHI-JOB SEARCH  
**福祉のお仕事**



クリエイティブな  
「ふくし」の魅力  
ふくし情報レポート  
全国社会福祉協議会

- 「斎藤十郎さんを偲ぶ会」を開催  
～ 福祉関係者等 約 300 名とともに

### 〈事業ピックアップ〉

- 全社協福祉ビジョン 2020 改定検討委員会(最終回)、  
第 1 回政策委員会幹事会を開催

全社協の出版情報【月刊誌 (月刊福祉、保育の友)】

## ● 「斎藤十朗さんを偲ぶ会」を開催

### ～ 福祉関係者等 約 300 名とともに

3月17日に85歳で逝去された全国社会福祉協議会の斎藤 十朗 顧問(元会長)を偲ぶ会が、5月13日、全社協・灘尾ホールで開催されました。全社協の村木 厚子 会長、清家 篤 顧問、長尾 立子 顧問が呼びかけ人となり、福祉関係者など約 300 名が参列され、故人のご冥福をお祈りしました。

式典で村木会長は、国会議員、厚生労働省関係者をはじめ、多くの福祉関係者にご参列をいただいたことに謝意を表するとともに、「私たち福祉関係者が、ご遺志を受け継ぎ、さらなる社会福祉の発展に向けて力を尽くしたい」と、斎藤 十朗さんの御霊に誓いました。

会場には、福祉関係団体等の役員のほか、加藤 勝信 財務大臣や福岡 資麿 厚生労働大臣も出席。衛藤 晟一 参院議員、田村 憲久 衆院議員、得能 金市 全米児連会長、磯 彰格 全国経営協会会長、田中 雅子 日本介護福祉士会名誉会長、東 憲太郎 全老健会長の6名が弔事を述べました。

斎藤元会長は 1972 年、参院議員に初当選。厚生大臣時代には社会福祉士・介護福祉士法の制定等に尽力。1995 年、参議院議長に就任。2004 年に政界を引退後、2007 年から 2019 年まで中央共同募金会や全国老人クラブ連合会でも会長を務めるなど一貫して社会福祉をライフワークとされました。

式典の閉会にあたり、清家顧問は、斎藤元会長は、会長退任の際、急激に変化する社会の中であって、社会保障・社会福祉の現状に強い危機感を抱いておられたことを紹介し、「私たちは、そのご遺志を受け継ぎ、日本の社会保障・社会福祉を持続可能な形で、さらに発展させていくために、村木会長のもと、皆で力をあわせて歩みを進めてまいりたい」と述べました。

式典では、斎藤元会長の功績や過去の発言などを紹介する追悼映像も放映。在りし日の姿を偲び、多くの参列者の皆様とともにご冥福をお祈りしました。



【総務部 TEL.03-3581-7851】

# 事業ピックアップ

## ● 全社協福祉ビジョン 2020 改定検討委員会(最終回)、 第 1 回政策委員会幹事会を開催

全社協は 4 月 24 日に、第 6 回全社協福祉ビジョン 2020 改定検討委員会(以下、本委員会)、第 1 回政策委員会幹事会(以下、幹事会)を開催しました。

### 第 6 回全社協福祉ビジョン 2020 改定検討委員会

本委員会では、前回(2 月 27 日)の委員会後に「全社協 福祉ビジョン 2025(案)」について、政策委員会構成組織、都道府県・指定都市社協に意見照会を行いました。

今回の委員会では、寄せられた意見のビジョンへの反映、最新の制度動向等を踏まえた内容の追記等について協議を行いました。

委員からは、「コロナ特例貸付に関して、一連の対応の検証等をふまえ今後にどのように活かしていくのか、方針等のとりまとめがあれば記載した方がよい」、「社会福祉の周辺領域で起きている急激な変化は、やがて福祉にも大きな変化をもたらす。そうした事態に備えることが重要ということを『展望』として記載できるとよい」といった意見が出されました。

本委員会を最終回とし、本委員会で作成した「全社協 福祉ビジョン 2025(案)」を政策委員会幹事会に諮ることとしました。

### 令和 7 年度 第 1 回政策委員会幹事会

幹事会では、社会保障、福祉政策の動向と課題等について協議を行いました。政策委員会の令和 6 年度「事業・活動報告」および決算、並びに令和 7 年度「事業・活動計画」および予算に関する案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

「社会保障、福祉政策の動向と課題」については、介護職員等の賃金の推移と 2025 年春闘の状況、政府における「2040 年に向けたサービス提供体制」や地域共生社会のあり方、防災庁設置に関する検討状況、災害法制の改正にかかる動向と全社協としての対応状況等について共有・意見交換を行いました。

「令和 8 年度社会福祉制度・予算等に関する要望(案)」については、幹事からは「外国人介護人材受け入れのための環境整備は、介護分野と障害分野とでは、雇用に際しての財政支援に差がある。その点の是正についてデータもふまえ要望していただきたい」、「地域で老人クラブが果たすべき役割についても追記いただきたい」等の意見が出されました。

要望書は、今回の意見をふまえ修正し、厚生労働省・こども家庭庁に 5 月中に手交する予定です。

「全社協 福祉ビジョン 2025(案)」については、幹事からは「『福祉組織・関係者』に専門職団体も明記した方がよい」、「『アドボカシー』は、意思決定の支援が大前提であり、それでも足りない部分を代弁するという趣旨が正確に伝わる記載にする必要がある」等の意見が出されました。

「全社協 福祉ビジョン 2025(案)」は、委員長預かりとし、本幹事会での意見をふまえた修正を行いとりまとめることとしました。



**幹事会のようす**

【政策企画部 TEL.03-3581-7889】

## 図書・雑誌

詳細については、[出版部ホームページ](#)をご覧ください。

### 全社協の出版情報

出版部で発行した書籍や月刊誌最新号の特集をご案内します。

#### <月刊誌>

##### ●『月刊福祉』6月号

###### 特集：AIと人と福祉

デジタルテクノロジーの発展を受け、AI(人工知能)を幅広く社会で実用することをめざした研究開発がすすみ、すでにAIが実装された製品やサービスは広がりつつあります。福祉の分野でも活用が始まっており、支援の質の向上や業務効率化、情報分析等でその効果が期待されています。

一方で、活用には一定の規制やルールが必要との指摘もあります。

本特集では、福祉の分野における活用状況と、適切に利用していくうえでのポイントを確認します。

(5月7日発売 定価 1,170円—税込—)



↑ 画像をクリックすると  
試し読みできます。

##### ●『保育の友』6月号

###### 特集：子どもの育ちを支えるさまざまな人たち

子どもたちをとりまく環境が多様化・複雑化するなか、保育所等には、子育て支援や食育の推進、障害のある子どもへの対応、健康支援などの役割が期待されています。子どもの育ちを支えるためには関係機関等との連携が欠かせません。

本特集では、保育者とともに子どもの育ちを支えるさまざまな人たちを取りあげ、専門職とのより一層の連携・協働について考えます。

(5月8日発売 定価 740円—税込—)



↑ 画像をクリックすると  
試し読みできます。

#### <レポート送付先>

本レポートは、報道関係者、都道府県・指定都市社協、種別協議会等協議員、政策委員会委員、本会理事・評議員の方がたにお送りしています。